

社団法人 関西常磐津協会 機関紙

第38号

発行(社) 関西常磐津協会

〒542-0072 大阪市中央区高津2-8-10 末広ビル502

TEL(06)6214-0753 FAX(06)6214-0755

つどい

御挨拶



社団法人 関西常磐津協会 理事長 常磐津一巴太夫

あけましてお目出度うございます。

皆様にはお揃いで巳歳のよき新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

昨年は野田政権の国会解散による衆議院総選挙や
ロシア・中国・韓国との領土問題の件などであけく
れる毎日の激動の一年でありました。

さて、当協会は十月二十七日(土) 国立文楽劇場
小ホールに於て、第七十三回の常磐津節公演会を行
いました。全十曲の演奏でしたが、満員の盛況にて
終了いたしました。常磐津愛好の皆様のご賜と心より
御礼を申し上げます。

又、いつも恒例の常磐津塚の法要は四月四日
(水)、江口の君堂にて行われ、ご出席の皆様は先祖
の霊を偲んでお供養をなさっていらっしゃいました。

「ときわぎ」はこの二月二十四日(日) 国立文楽
劇場小ホールにて行われます。教室会員皆様方で六
番と各社中のご出演の四番の計十番にて演奏されま
す。皆様のご来場を切にお願い申し上げます。

そして、当協会にこの程、内定がございまして、
四月一日を以て「一般社団法人関西常磐津協会」と
して移行することと相成りました。これからもいろ
いろと企画を考えて協会の皆様方の意向にそえます
様つとめて参る所存でございます。尚、今年の常磐
津節公演会は八月四日(日) 国立文楽劇場小ホール
にて行います。何卒よろしくお願い申し上げます。
今後共、常磐津節が益々発展いたしますことをお祈
り致しまして新年の御挨拶と致します。

(重要無形文化財常磐津節浄瑠璃保持者)

一般社団法人への 移行に向けて

社団法人関西常磐津協会は、来たる平成25年4月1日より、「一般社団法人関西常磐津協会」に移行いたします（平成24年7月26日に内閣府に移行を申請し、同年10月12日に内定の答申を受けました）。なぜ、このような移行を行うことになったのでしょうか。協会の運営や活動について、従来と変わる点はあるのでしょうか。今回の移行の背景や経緯、ポイントについて当協会事務局におうかがいし、Q&A形式でわかりやすく整理していただきました。

【引越しました！】

Q 一昨年、平成23年夏に事務所が引越しました。この引越しは今回の「移行」と何か関係があるのでしょうか？

A まったく関係ありません。従来の事務所は手狭で、常磐津教室などに重宝する和室もありませんでしたので、契約更新のタイミングにともない、移転いたしました。従来と同様、国立文楽劇場が間近ですので協会員が集まりやすく、六畳間もあり、やや広くなりました。

た。少し古い建物ですが、家賃も従来よりお得です。

事務所は、登記上は必ずしも専用の事務所を構える必要はないのですが、法人に関わるたくさんの方の書類を確実に保存することが規定されていますし、常磐津教室や協会員の交流の拠点として専用の事務所が存在することは、公益法人として協会を運営していく上で、きわめて重要です。

【制度改革は「いい迷惑」!?】

Q では、肝心なところをおうか

がいて参りますが、なぜ、従来の「社団法人」を改めて、「一般社団法人」に衣替えをしなければならぬのでしょうか？

A 国の方針によって、公益法人改革制度といわれる制度改革が行われたためです。それによって、従来の「社団法人」という団体をそのまま維持すること、また、「社団法人」という呼称を使うことも、法律上できなくなりました。つまり、すべての社団法人が、「公益社団法人」ないし「一般社団法人」に衣替えするか、解散しなければならなくなったのです。

Q なんだか難しそうですが、まずは世間の流れとして致し方ない、といったことなのでしょうね。では、どうしてそのような改革を行う必要があったのでしょうか。そもそも公益法人改革制度とは、どのようなものなのでしょうか？

A 社団法人とは、「慈善・学術・技芸その他の公益事業を目的とし、主務官庁の許可を得て法人となっ

た社団」（広辞苑第5版）です。しかし、税制上の優遇を利用して私欲的な活動をする団体や、資産を貯め込んだまま休眠している団体がたくさん存在することが問題視されるようになっていたそうです。そのような不良団体を一掃して不良資産を掃き出させるために制度を変えようという訳なのです。ですから、私どものような健全な団体にとっては、「いい迷惑やねん、ええ加減にせえよ！」という思いです（笑）。

Q 数年前に、「漢字検定」を主催する某財団法人のあり方がニュースで大きく取り上げられていましたね。

A その通りです。公益法人としての「公益性」を看板に掲げながら私欲的とみられる活動を巧妙に行ったために問題になったんですよ。こうした背景には、法律や監督官庁の側にも課題があったそうです。詳しいことは略しますが、法人の規定を定めた民法が、

明治29年から改訂されていなかったもので、今日の社会情勢にあわな
い点がたくさんあったり、法人の
「公益性」についての基準や判断
が、法人を認可・指導する官庁や
部局によってまちまちであるとい
った問題点も指摘されていたそう
です。こうした課題を解消するた
めに、平成20年12月1日に新しい
法律（いわゆる一般社団・財団法
人法）が施行されました。それ
によって、すべての社団法人が、平
成25年11月30日までに新しい制度
に従わなければならなくなったの
です。

【もし解散したらどうなる？】

Q 関西常磐津協会の事務局や理
事の皆さんは、全員、常磐津節の
演奏家です。ある程度は行政書士
の先生からアドバイスをいただい
ているのでしょけれども、法律
や法人運営については素人のかた
ばかりなので、さぞかしご苦労が
あることと思います。こんなこと
を申し上げては叱られるかもしれ
ませんが、いっそのこと、社団法
人を「解散」して任意団体に戻っ
たほうが気楽ではないかとも思い
ました。そういう選択肢は考えら
れなかったのでしょうか？

A もし、法人を解散する場合に
は、自然消滅という選択肢は存在
せず、「財産を清算」しなくては
なりません。財産は公益目的で集
まったものですから、その清算も
公益に叶っていなければならず、
たいへん厳しい制約があります。
私どもの協会は小さな団体ですの
で億単位の巨額な財産を保有して
いるわけではありませんが、多く
の先輩や関係者の方々から常磐津
節の将来のために公益目的で活用
してほしいということで、少しずつ
託されたお金等を財産として蓄
積しています。そうした貴重な財
産をすべて、国か地方自治体、あ
るいは同種の公益法人に対して、
「寄付」しなくてはならなくなっ
てしまうのです。

Q それは困ったことですね。本

当に「いい迷惑」です。

A 確かに、法人を維持していく
ためには、私どもの本業である演
奏や教授の仕事以外の面での、慣
れない雑用が多くなってしまうま
す。しかし、先輩方がたいへんな
ご苦労をなさって、平成5年に当
協会を法人化されたおかげで、法
人としての特色を生かした社会的
活動が軌道にのり、成果の現れて
いるところがたくさんあります。
何よりも、私たち自身の間に、法
人の一員であるという一種の社会
的責任感も芽生えました。それに
よって、常磐津節という古典芸能
を一般社会に対してより広くアピ
ールしたり文化的貢献を果たした
いという意識も高まり、それが法
人としての公益目的とうまく連動
していると思うのです。

【一般社団法人とは？】

Q 関西常磐津協会が公益目的の
団体であることは疑いないところ
ですが、今回の移行に際して、「公
益社団法人」でなく「一般社団法

人」になるのはどうしてなのでし
ょうか？

A この二つの区別は、当初はさ
っぱりわかりませんでした。まず、
平成20年10月に内閣府の説明会に
出席しましたが、お役人の説明が
さっぱりわからない（笑）。どう
やら役所のほうでも法律の方向性
をまだ決めかねているという印象
を受けました。ということ、法
人設立の際にお世話になった司法
書士さんのお勧めもあり、よりよ
いアドバイスをくださる行政書士
さんにご相談することになりました。
そして、平成22年3月の2回
目の説明会を経て、ようやく当協
会がどちらの法人に移行すべきな
のか、わかりはじめたのです。
「公益社団法人」も「一般社団法人」
も、公益・非営利目的の団体であ
ることに変わりはありません。「公
益社団法人」のほうが「一般社団
法人」よりも社会的信用度が高い
とされていますが、それは、登記
や税務処理等の面で、一定の複雑

な審査を受けるためです。簡単に言えば、私どものような小規模のいわゆる「同業者団体」、収益をほとんど生み出さない団体にとつては、面倒な手続きがさらに増えるだけでメリットがないのです。公益目的財産支出計画という計画書を毎年提出しなければなりません、それによって、事業運営と財産保護のバランスを適切に調整していくことができます。

Q そういえば、日本三曲協会さん、能楽協会さん、日本舞踊協会さんなどは「公益社団法人」になりましたね。

A 会員数が私どもより桁違いに多いといった環境の違いもあり、主催公演の規模や回数も異なります。つまり、非営利団体とはいつても結果的に大きな収益を生み出してしまう可能性があるような場合は、「公益社団法人」のほうが税務処理等の面で有利なのでしょう。長唄協会さん、義太夫協会さん、それから少し畑は違

ますが東洋音楽学会さんなどは、私どもと同様に「一般社団法人」に移行されています。

【今後の活動に向けて】

Q 今回、法人の認可を受けたのは、従来の大阪府教育委員会ではなく、「内閣府」だったそうですね。

A 国に申請するか、大阪府に申請するか、私どもの場合は二つの選択肢があったのですが、前者を選択しました。といいますのも、当協会の活動範囲は、大阪府内にとどまらず各地へ展開しています。大阪府外に在住する会員も大勢いらっしゃると思います。海外も視野に入れた活動なども要請される時代になつてきていますよね。

Q 今後の協会の運営方針や協会の活動内容について、これまでと変わる点がありますか？

A 「公益事業」として、公演会の開催・機関誌の発行、「収益事業」として、ときわぎ公演・常磐津教室・常磐津塚法要が柱になります。つまり、公益目的をより明

確に示すために、公益事業と収益事業が損益計算書上は区別されるようになりませんが、実際の事業内容としては従来と変わる点はありません。

Q 総会の開催は今まで通りでしょうか？

A 現定款では、総会を2月と6月に開催すると規定されています。皆さんお忙しいので、これを遵守するのはかなりたいへんでした。新定款では現状にあわせて、総会は年1回開催という回数だけの規定にとどめて不便を解消しました。なにしろ、協会の憲法である定款もすべて作り替えなければならなつたので本当に「いい迷惑」でしたが、おかげさまで無事に移行することができてホツとしています。

この機関誌「ときわぎ」も、年2回のささやかな紙面ではありますが公益事業の一つです。当協会のさまざまな活動が社会に還元されたり認知されたりするための一

助として、引き続き役目を果たしていってくださることを願っています。

協力―生島清身氏

(きよみ行政書士事務所)

小欣矢(事務局)

構成―若音太夫(文責)

お揃い浴衣

久方ぶりに本年度に揃い浴衣の制作が決まりました

詳細は決定次第お知らせしますが、

多くの会員皆様のご賛同をお願いいたします

歌舞伎と三味線音楽

(その九)

常磐津 都 菟 蔵

これまで歌舞伎の三味線音楽を様々な角度から見てきました。今回は三味線音楽の演奏形態を客席から観賞するどのような形に分けられるか改めてお話をさせていただきます。

【A】歌舞伎のあらゆる演出にかかる効果音、背景音楽、伴奏音楽が観客からは見え、舞台の陰で演奏する形式でこれを二つに分けます。

①通称〈下座音楽〉といい、長唄と鳴物の連中の職分で唄・三味線の合方・鳴物の三種で構成され、広い意味の〈囃子〉が中心となる音楽。原則として〈下座音楽〉は下手の〈黒御簾〉と呼ばれる演奏場所です。演奏されますが都合によっては上手の舞台や花道の揚幕の中「鳥屋」その他で演奏されることもあります。

下座音楽〈黒御簾〉という名称ですが、いまは下手に位置することから下座音楽といわれるようになった観がありますが、もともとこの位置は上手にあり、外座と呼ばれていました。黒御簾についてはいろいろ説のあるところですが、面白いのは昔、旗本の次男坊三男坊が道楽半分の小使稼ぎに、この黒御簾に出入りしていた事実があることです。確かにこの場所は侍が入っていても観客に顔をさらさず、武士の式楽である四拍子は若いころから嗜んでいたでしょう。劇場からは治外法権的な取扱いをうけ、外座と敬称さ

れていました。其所には刀掛けの設備さへ出来ていたと言われています。

しかし旗本のアマチュア連が外座に出入りしていたのは宝暦までで、その後しだいに町人の職業人のみとなり、それと同時に外座の二字もいつしか下座と改まることになったという話も残っています。

②〈竹本〉近世以来〈ちよぼ〉と呼ばれてきた義太夫節で、上手臆病口の上方面にある御簾内の〈太夫座〉で演奏します。

【B】演奏者が舞台に出て観客に姿を見せて演奏する形式

これも四つに分けますと

①〈出囃子〉所作事の地として演奏する長唄の演奏者(唄・三味線・鳴物)が原則として舞台正面に設けられる緋毛氈を敷いた〈雛壇〉の上段に居並んで演奏する形式。

この場合、鳴物は下段で、四拍子(笛・小鼓・大鼓・太鼓)ただし、笛は能管ばかりではなく、竹笛も扱う)を勤めます。また、大太鼓その他の鳴物が打ち込まれる場合は黒御簾の中で演奏します。

②〈出語り〉浄瑠璃の演奏者が舞台に姿を見せて演奏する形式

義太夫節の〈竹本〉の出語りは上手側に設けられる〈太夫座〉(太夫床)で演奏され、時に上手臆病口上方の太夫座の御簾を上げ姿を見せて演奏することもあります。

常磐津節や清元節はふつう緋毛氈を敷いた〈山台〉で演奏します。

山台の位置は通常、常磐津は下手で狂言ものは上手、清元は上手、また両派とも狂言によって、下手寄りの舞台正面に設けることもあります。

③〈大薩摩〉だんまり、其の他の演出で、浅黄幕の前に唄い手と三味線方が一、名ずつ出て唄い手はや、斜め向きに立ったまま、三味線方は右足を合引に乗せて、太股の上に三味線の胴を乗せ、立ったまま弾く演奏形式。

演奏が終わると演奏者は引っ込み析が入って浅黄幕が振り落とされ芝居は始まります

なお演目によって大薩摩の演奏を地とする演出がありますが、その場合上手側に設けられた床において演奏される〈出語り〉の形式をとることもあります

④花道の引っ込みに演奏される〈三重〉

例えば「熊谷陣屋」の幕切れのように引幕が閉められてから僧形となった熊谷直実が花道を引っ込む演出に演奏される「愁三重」と「送り三重」のような場合で、下手側の引幕が後方にひっぱられ立三味線が花道の付け際のところに出てきて右足を合引に乗せて演奏する形式

なお以上の他、義太夫狂言において太棹の三味線で演奏されるメリヤスと同じ手を、長唄の三味線が舞台の陰で細棹で弾き合わせる〈上下の合方〉(上は細棹の高音部・下は太棹の低音部を指す)もあります

そのほか芝居の中で「常磐津」の〈吉田屋〉のように効果音楽風に用いる〈余所事浄瑠璃〉と呼ばれる楽劇形式もありますし、より三味線音楽を印象づけるものに、異なった二つの流派が同時に舞台に出演し座を盛り上げる〈掛合い〉形式もよく行なわれます

唄ものの「長唄」、語り物の「義太夫」「常磐津」「清元」はそれぞれ個性的持味をもって今日まで伝承されています

その濃厚な持味を、その時々々の歌章に合わせ音を分担する時、1+1=2以上の効果が現われ、いやが上にも音楽と舞踊は盛り上がりがあります

この面白い演出は、文化五年(一八〇八)十一月、森田座、顔見世狂言「倭仮名色七文字」を三世坂東三津五郎が踊った時の常磐津と長唄の掛合い

を嚆矢として、変化舞踊の流行とともにたびたび採用された演奏形式です。〈後の月酒宴嶋台〉文政十年(一八二八)九月、中村座の「角兵衛」も低音部の常磐津で女太夫の情を、高音部の長唄で角兵衛獅子の軽快さ、派手さを表現した掛合いの所作はその代表的な作品でしょう

また場合によっては三方掛合い(二種類の浄瑠璃と長唄による)という派手な演奏も行なわれていました。明治以後次第に廃れましたが、新歌舞伎十八番の内「紅葉狩」などは今に残る代表的な三方掛合いの名曲です

歌舞伎と三味線音楽について九回にわたり続けてきました拙論もほちほち終わりに近づいてきました

お国で始まり、女歌舞伎の時代から幕府によって再三にわたり廃止の憂き目にさらされながら、しかし、しぶとく形を変えながら生き延びてきた歌舞伎はその発生からたった半世紀程前に伝来した三味線という外来楽器、この二つの宿縁ともいえる強い絆によって花開いた三味線音楽、それがどれだけ人の心を癒し続けてきたことかと思われま

世話場の太鼓でいつも聞こえるツクダの合方、廓の場面のスガガキの華やぎ、深深と降りしきる夜身に沁む雪の合方、殺しの場での情緒連綿の川崎音頭、勸進帳へ、これやこの往くも帰るも別れては知るも知らぬも逢坂の……の名文にのせた曲で感じる心地よさ、魚屋宗五郎で酒を飲むときの演者のしぐさと三味線合方との間の妙……

歌舞伎と三味線音楽についてはまだまだ語り尽くせませんが、このあたりで千秋楽とさせていただきます

本当にながらく有難うございました

協会だより

行事予定

〔第三十八回通常・予算総会〕

平成二十五年二月二十日(水)

大阪市中央会館

午後一時半より

平成二十五年年度の予算・事業等の説明に加え役員改選選挙が行われます。皆様のご出席、又は期日前投票等、ご協力をお願い致します。

〔常磐津塚法要〕

江口の君堂寂光寺

平成二十五年四月四日(木)

本年も例年通り執り行われます。皆様のご参拝をお願い申し上げます。

〔第三十九回通常・決算総会〕

日時・場所未定(五〜六月頃予定)

平成二十四年度の会計・事業報告や二十五年度の「新法人移行」の報告、等の予定です。皆様のご出席お願い致します。

〔第七十四回常磐津節公演会〕

平成二十五年八月四日(日)

大阪日本橋国立文楽劇場小ホール

開演時間未定

〔十月五日より変更になりました〕

〔第十七回ときわぎ〕

平成二十五年二月二十四日(日)

大阪日本橋国立文楽劇場小ホール

午前十一時半開演

今回も皆様のお稽古の成果をご期待下さい。又、終演後は日航ホテルにて親睦会を行います。皆様のご来場ご参加をお願い致します。

行事報告

〔第七十三回常磐津節公演会〕

平成二十四年十月二十七日(土)

大阪日本橋国立文楽劇場小ホール

午後二時開演

本年は十番の演目を演奏、近年盛況を頂いております公演会ですが、本年もお蔭をもちまして一層の盛況を頂き幕を閉じました。

会員移動

〔移動〕

△正会員▽

常磐津 都 陽(都瓦藏一門)

準会員へ

〔退会〕

△準会員▽

常磐津 小 楊(小 清一門)

常磐津 富美巴(一巴太夫一門)

△賛助会員▽

高 尾 紀美子(小由太夫一門)

〔新入会〕

△正会員▽

常磐津 三都姫(三都由紀一門)

△準会員▽

常磐津 和 勢(欣勢太夫一門)

△賛助会員▽

竹 原 美代子(一巴太夫一門)

協会だより

行事予定

〔常磐津節保存会〕

△東京公演▽

平成二十五年一月二十六日(土)

東京紀尾井ホール

午後一時開演

今回は「明治の名作」と題し、当協会よりは一巴太夫理事長、都瓦藏常務理事らが出演され「七福神」を演奏されます。又ゲストには竹内道敬氏を迎え、都瓦藏師と「稀曲について」の題で対談される予定です。

△京都公演▽

平成二十五年二月十四日(木)

午後二時開演

竹内道敬氏と当流家元との対談と素

語りの演奏。演目等は左記の通りです。

「妹背山婦女庭訓」

― 姫戻りの段・御殿の段 ―

浄 一佐太夫 三 都瓦藏

都代太夫 都 史

三代太夫

若音太夫

一男太夫

〔人間国宝・常磐津一巴太夫の世界〕

― 素浄るり・至芸とその心 ―

平成二十五年一月二十七日(日)

愛知県可児市文化創造センター

主劇場

午後三時開演

ゲストに名古屋西川流の西川千雅師を迎え、司会にアナウンサー葛西聖司氏が、解説やインタビューを交えお送りされます。演奏は左の通りです。

一、素浄瑠璃 子宝三番叟

出演 一巴太夫 他

一、舞 踊 老 松

立方 西川千雅

一、素浄瑠璃 う つ ぼ

〔常磐津一巴太夫をきく会〕

平成二十五年二月二十六日(火)

午後六時半開演

左記の演目に加え竹内道敬氏と一巴太夫師の対談もお楽しみ下さい。

「三世相錦繡文章」

— 洲崎堤の段 —

浄 一 巴太夫 三 八百八

巴瑠幸太夫 菊与志郎

秀三太夫 上 文紫郎

— 十萬億土の段 —

浄 一 巴太夫 三 英寿

巴瑠幸太夫 齋 蔵

秀三太夫 上 式明

〔第六回常磐津綱男勉強会〕

平成二十五年三月三十一日(日)

大阪日本橋国立文楽劇場小ホール

午後一時開演予定

主な演目

三保の松・地蔵の道行・三社祭他

出演

綱男・綱希・綱鵬・綱実・綱千華 他

〔常磐津小文太夫改め〕

十二代目常磐津小文字太夫

襲名披露演奏会

平成二十五年十月二十一日(月)

東京国立小劇場

詳細未定

〔常磐津小欣矢の会〕

平成二十五年十一月十六日(土)

大阪本町ティンホール

詳細は未定ですが、一門会としての開催予定です。

— 行事報告 —

〔平家残照・

変りゆくもの変らざるもの

〜人の心と情景〜

平成二十四年十一月

三日(土・祝)午後二時・六時開演

四日(日) 午後三時半開演

滋賀県立文化産業交流会館、平成の芝居小屋「長栄座」事業錦秋公演、伝統と創造シリーズⅢとして開催、本年も滋賀県唯一の人間国宝一巴太夫理事長が出演、三日の公演ではこの日の為に御自身が作曲された「新曲近江八景」と四日の公演でも自身作曲の「鞆絵(ともえ)」を演奏されました。

〔四代目常磐津三蔵〕

三回忌追善の会

平成二十四年十一月十一日(日)

大阪本町ティンホール

正午開演

昨年三回忌を迎えられた故三蔵師の追善会が催されました。開演前には口ビーに設けられた祭壇に読経。生前録音された故人の弾語りによる音源に、奥様の紫風師が立方を勤められた「山姥」等で開幕。永年指導されてこれ

た伝統文化みをつくし倶楽部、高知三蔵会の皆様を始め、当協会からは一巴太夫理事長、都瓦蔵常務理事ら多くの方々の出演で賑やかな故人をしのぶ会となりました。



〔常磐津綱男三味線コンサート〕

「中棹三味線とチェロによる

和と洋の弦楽器の融合」

平成二十四年十一月十八日(日)

名古屋ファイブオールホール

出演 三味線・常磐津綱男

チェロ・新井康之

(名古屋フィルハーモニー)

ピアノ・富永里美

三味線を主にチェロ・ピアノとのセッションで「愛の挨拶」「アヴェ・マリア」等洋楽四曲、そして常磐津から

は「お夏狂乱」を演奏、異空間の融合にお客様を引き込まれ、驚きの内に幕を閉じられました。



— 表彰 —

この度当協会の小清師が常磐津節の保存振興、浄瑠璃方としての永年の活躍、後進の育成等、多大な貢献が認められ「平成二十四年度文化庁長官表彰」を受彰されました。心よりお慶び申し上げます。

— 協会揃え浴衣 —

本年度、協会員の揃え浴衣の製作が決定致しました。詳細は後日ご通知致しますが、多くの会員の皆様のご賛同をお願い致します。